

令和6年度日本スポーツ協会公認バレーボールコーチⅠ養成講習会 専門科目（自宅学習） 実施要領

開催要項に示された専門科目の自宅学習については、下記の要領により実施し、レポート等を講習会初日（10月19日）の受付時に提出すること。

1 レポート：子供たちを理解する

「コーチングバレーボール（基礎編）」（大修館書店）を購入の上、「第3章 子供たちを理解する」全体を読み、「3-1 体力面から子供を理解する」について自分の考え（例：自分の指導方針にどう反映させていくか 等）をまとめ、下記に従いレポートを提出する。

→レポートの形式：A4 横書き、印刷方向は縦、余白は全て 20mm（左右上下）、枚数は2枚以上（2枚目になる場合は両面で印刷）、文字数は2000字以上とする。

※「コーチングバレーボール（基礎編）」は、最寄りの書店か大修館書店ホームページ（<https://www.taishukan.co.jp/book/b279501.html>）より必ず購入してください。

2 実技・指導実習：初心者指導実習

福井県バレーボール協会ホームページに掲載する事前学習教材（中学生女子 初心者指導のポイント）を学習するとともに、初心者指導実習については可能であれば実際に実施し、所定の様式にて実施内容を報告する。

3 実技・指導実習：フォーメーション指導実習（基礎）

「コーチングバレーボール（基礎編）」（大修館書店）「第6章 戦術戦略の基礎 -基本的ゲームマネジメント」全体を読み、「6-6 ディグフォーメーション」について、211ページ～212ページに記載の図1～図3の各ベースポジション例の有利な点・不利な点についてまとめ、下記に従いレポートを提出する。

ベースポジション例：①3:1:2(6 アップ)、②3:2:1(6 ダウン)、③変則 3:0:3(フラット)、
④2:2:2、⑤2:1:3、⑥1:2:3、⑦1:3:2

→レポートの形式：A4 横書き、印刷方向は縦、余白は全て 20mm（左右上下）、2枚目になる場合は両面で印刷、文字数制限なし。